

【前回検討会での指摘】

- 「ビジネスアーキテクト」という人材類型の定義について、新しい用語であることもあり、丁寧な説明が求められるのではないか。
- 「ビジネスアーキテクト」の育成は、非常に難しい。新規事業を立ち上げたり、企業変革を担ったりするような人材のスキルが明確になったとしても、それを育成する方法を具体化することは難しい。今後は、そのような育成方法の検討や明確化も課題なのではないか。

デジタルスキル標準の公表後は、関係省庁との連携の下で、**様々な民間プレイヤーの関与を得ながら普及・活用に向けて取り組む**とともに、**ユーザーのフィードバック**を得ながら、デジタルスキル標準の**継続的な見直し**を行う。

1

DX推進人材の育成に向けた教育コンテンツの充実

- 「マナビDX」のコンテンツをデジタルスキル標準に紐づけて掲載
- デジタルスキル標準を習得するための**教育コンテンツ**の充実

2

デジタルスキル標準の普及に向けた方策

- **有識者（検討委員）や推進団体**による情報発信
- **ユーザー（DXに取り組む産業界等）**との連携

3

デジタルスキル標準の継続的な更新・拡充

- ユーザー（DXに取り組む産業界等）の**活用事例やフィードバック**の把握
- **技術動向、市場変化**を踏まえた継続的な見直し